

# 救急医学・救急部

## 1 構 成 員

|                          | 平成23年3月31日現在 |
|--------------------------|--------------|
| 教授                       | 1人           |
| 准教授                      | 1人           |
| 講師(うち病院籍)                | 1人 (1人)      |
| 助教(うち病院籍)                | 3人 (2人)      |
| 助手(うち病院籍)                | 0人 (0人)      |
| 特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む) | 2人           |
| 医員                       | 0人           |
| 研修医                      | 1人           |
| 特任研究員                    | 0人           |
| 大学院学生(うち他講座から)           | 0人 (0人)      |
| 研究生                      | 0人           |
| 外国人客員研究員                 | 0人           |
| 技術職員(教務職員を含む)            | 0人           |
| その他(技術補佐員等)              | 1人           |
| 合計                       | 10人          |

## 2 教員の異動状況

青木 克憲(教授)(H14.11.16.～現職)  
 吉野 篤人(准教授)(H17.6.1.～現職)  
 望月 利昭(講師)(H21.4.1.～現職)  
 鈴木 均(助教)(H21.2.1.～H23.3.31.)  
 松下 明生(助教)(H20.4.1.～H23.3.31)  
 白木 克典(助教)(H20.4.1.～現職)  
 栃久保順平(診療助教)(H22.4.1.～H23.3.31.)  
 相良 大輔(診療助教)(H22.4.1.～H22.9.30.)

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

|                    | 平成22年度  |
|--------------------|---------|
| (1)原著論文数(うち邦文のもの)  | 2編 (0編) |
| そのインパクトファクターの合計    | 5.08    |
| (2)論文形式のプロシーディングズ数 | 0編      |
| (3)総説数(うち邦文のもの)    | 2編 (2編) |

|                   |         |
|-------------------|---------|
| そのインパクトファクターの合計   | 0.00    |
| (4)著書数(うち邦文のもの)   | 1編 (1編) |
| (5)症例報告数(うち邦文のもの) | 3編 (2編) |
| そのインパクトファクターの合計   | 3.23    |

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Katsunori Aoki, Atsuto Yoshino, Kikuo Yoh, Motoyasu Yamazaki, Naoki Aikawa. A comparison of Ringer' s lactate and acetate solution regarding resuscitative effects on splanchnic dysoxia in patients with extensive burns. BURNS 36:1080-1085,2010.,1.72
2. Shiraki K, Satoh H, Saitoh T, Saotome M, Urushida T, Katoh H, Takehara Y, Sakahara H, Hayashi H. Comparison of global and regional abnormalities in 99mTc-sestamibi and cardiac magnetic resonance imaging in dilated cardiomyopathy. J Card Fail 16; 641-8, 2010.3.36

インパクトファクターの小計 [ 5.08 ]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 青木 克憲, Dysoxia, 外科と代謝・栄養、44:229-234, 2010.
2. 吉野篤人, damage control surgery (DCS) および Planned reoperation、山口徹 北原光夫 福井次矢 総編集、今日の治療指針 2011、医学書院、東京、111p、2010 年

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 望月利昭.術中に心停止が起きた。分担執筆。高崎真弓, 河本昌志, 川真田樹人, 岡本浩嗣(編) 麻酔科トラブルシューティング A to Z、文光堂、平成 22 年 10 月

(5) 症例報告

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Ohtani H, Katoh H, Saitoh T, Shiraki K, Saotome M, Urushida T, Satoh H, Washiyama N, Terada H, Yamashita K, Hayashi H. Left ventricular pseudo-false aneurysm detected with ECG-gated multidetector computed tomography and cardiac magnetic resonance imaging. Circ J 74:1968-8,2010,3.23
2. 小林充, 望月利昭, 中島芳樹, 石井康博, 佐藤重仁 覚醒剤中毒に見られたガス壊疽症例の周術期管理経験 臨床麻酔 34: 1. 45-8, 2010 [0]
3. 浦岡雅博, 望月利昭, 佐藤重仁 腹部大動脈ステント挿入術中に心静止をきたした一例 蘇生 29: 1. 28-32, 2010 [0]

インパクトファクターの小計 [ 3.23 ]

#### 4 特許等の出願状況

|              | 平成22年度 |
|--------------|--------|
| 特許取得数(出願中含む) | 0件     |

#### 5 医学研究費取得状況

|                    | 平成22年度     |
|--------------------|------------|
| (1) 文部科学省科学研究費     | 2件 (220万円) |
| (2) 厚生科学研究費        | 0件 (0万円)   |
| (3) 他政府機関による研究助成   | 0件 (0万円)   |
| (4) 財団助成金          | 1件 (30万円)  |
| (5) 受託研究または共同研究    | 0件 (0万円)   |
| (6) 奨学寄附金その他(民間より) | 0件 (0万円)   |

##### (1) 文部科学省科学研究費

1. 青木 克憲 基盤研究C 画像解析に基づく tissue dysoxia 治療の実験的検討 研究代表者、110万円
2. 望月 利昭 基盤研究(C) 血管内軽度低体温法による虚血再灌流後の心筋保護効果:ラット孤立心筋モデルでの研究 平成22年度~24年度、110万円

##### (4) 財団助成金

市民のための医療救護訓練テキスト 1,000部作成 静岡県民に無料配布

#### 7 学会活動

|                 | 国際学会 | 国内学会 |
|-----------------|------|------|
| (1) 特別講演・招待講演回数 | 0件   | 0件   |
| (2) シンポジウム発表数   | 0件   | 0件   |
| (3) 学会座長回数      | 0件   | 2件   |
| (4) 学会開催回数      | 0件   | 1件   |
| (5) 学会役員等回数     | 0件   | 19件  |
| (6) 一般演題発表数     | 0件   |      |

##### (2) 国内学会の開催・参加

###### 1) 主催した学会名

日本集団災害医学会セミナー

平成22年7月16日17日18日、浜松医科大学

###### 4) 座長をした学会名

青木克憲 2010.10. 第38回日本救急医学会総会・学術集会 東京都

青木克憲 2010.5. 第25回日本Shock学会総会 東京都

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

青木 克憲

|              |  |
|--------------|--|
| 日本救急医学会      | 評議員、専門医認定委員会、「救急診療指針第4版」編集主幹<br>指導医・専門医制度委員会 |
| 日本臨床救急医学会    | 評議員、査読委員、広報委員会                               |
| 日本救命医療学会     | 評議員、編集委員、監事                                  |
| 日本熱傷学会       | 評議員、査読委員                                     |
| 日本集団災害医学会    | 評議員、査読委員                                     |
| 日本SHOCK学会    | 評議員、理事、会長                                    |
| 日本外科代謝栄養学会   | 評議員、用語委員会委員                                  |
| 日本血液代替物学会    | 評議員  |
| 日本DIC研究会     | 評議員  |
| 日本救急医学会中部地方会 | 理事   |
| 日本熱傷学会東海地方会  | 評議員  |
| 静岡県献じん対策協議会  | 世話人  |
| 浜松市医療救護委員会   | 会長   |
| 静岡栄養代謝の集い    | 代表幹事   |
| 浜松市救急医学研究会   | 副会長  |

吉野篤人

|              |     |
|--------------|-----|
| 日本救急医学会      | 評議員 |
| 日本臨床救急医学会    | 評議員 |
| 日本集団災害医学会    | 評議員 |
| 日本救急医学会中部地方会 | 幹事  |

8 学術雑誌の編集への貢献

|                   | 国内 | 外国 |
|-------------------|----|----|
| 学術雑誌編集数(レフリー数は除く) | 0件 | 0件 |

9 共同研究の実施状況

|           | 平成22年度 |
|-----------|--------|
| (1)国際共同研究 | 0件     |
| (2)国内共同研究 | 0件     |
| (3)学内共同研究 | 2件     |

(3) 学内共同研究

1. 間賀田泰寛教授（光量子医学研究センターゲノムフォトンクス研究分野）。  
Tissue dysoxia の蘇生に関する研究。
2. 山岡 泰治教授（地域医療学）中東遠地域の救急医療、災害医療の構築に関する提言

## 10 産学共同研究

|        |        |
|--------|--------|
|        | 平成22年度 |
| 産学共同研究 | 0件     |

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

### 1. Tissue dysoxia の蘇生に関する研究

tissue dysoxia は、細動脈まで運ばれてくる酸素含量の変化 (DO<sub>2</sub>) に対応して酸素の取り込みを調節する機能が低下する結果、組織の要求する酸素量が満たされず酸素負債を生ずる状態と定義される。現在、spectrophotometric analysis および組織酸素分圧計により、組織における酸素摂取率 (Oxygen Extraction Ratio: O<sub>2</sub>ER)、組織静脈酸素分圧較差 (Oxygen Gap: O<sub>2</sub>Gap)、組織酸素分圧 (PtO<sub>2</sub>) の3者を測定し、細胞内酸素負債を推定する検討を行っている。平成16～23年度の科研費により、微小循環不全による動静脈シャントのメカニズムを追及した。今後は、侵襲下の微小循環蘇生法としての人工酸素供与体の有用性を検討する。すなわち、エンドトキセミア下、粒子型の小さい人工酸素運搬体 (リボソーム包埋型 Hb、粒子径 0.2μm) の蘇生効果を、酸素分圧分布の画像解析にて検討する。

### 2. 出血性ショックにおける低血圧蘇生の有用性とその病態解析

平成13～14年度の科研費による「制御不能の出血性ショックに対する低血圧蘇生の有用性に関する実験的検討」において、大量輸液による正常血圧蘇生は生存率の向上に貢献しない可能性が示された。以上の方針が治療の標準として採用されるため、臨床においてさらなる検討を続けている。

### 3. 広範囲熱傷における大量輸液療法の再検討

広範囲熱傷の初期大量輸液療法について、酢酸リンゲル液の有用性を示すデータが得られたので、今後も症例数の増加に努め新たな輸液療法の指針を追及する。

### 4. simulation hospital による基本診療技術の標準化設計

新臨床研修制度の実を挙げるためには、卒前におけるシミュレーション医学の実践が必要である。大学病院と地域医療機関等が緊密に連携して医師のキャリア養成を行うシステムの構築が必要である。すでに、われわれ救急医学スタッフは、毎週末、静岡県の多くの中核病院に出かけて行って、BLS、ACLS、ICLS などの Simulation Medicine を行い、地域全体の基礎的な救急対応能力の底上げを推進してきた。年間平均約 50 回のトレーニングを開催あるいはバックアップしている。とくに、BLS (Basic Life Support、一次救命処置) は、日常生活の中で突然生じる健康危機に市民が即座に判断し、とるべき行動をまとめたプログラムである。われわれは、浜松医大医学部附属病院の医療従事者に限らず、浜松市内、あるいは、静岡県内のすべての医療従事者を対象として、BLS 啓発活動を進めている。また、医療従事者のみならず、学童生徒、中高生、大学生、一般市民にもその啓発活動に努力している。大学が地域医療機関や開業医のキャリアアップを支える現実的な手段とし

て、Simulation Medicine の体験が有効である。各病院には、十分な教育用資機材がないため、大学に Simulation Medicine Center を構築し、広く門戸を開放することが重要と思われる。ACLS(Advanced Cardiovascular Life Support)、ICLS(Immediate Cardiovascular Life Support)、JPTEC(Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care)、JATEC(Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)、PALS(Pediatric Advanced Life Support) で構成される救急初療技術の標準化に関する啓発活動を静岡県内で精力的に進めている。

#### 5. 東海地震における市民との医療連携

来るべき東海地震に備えて、公的救助を期待できない発災直後 (phase0) における市民との医療連携のあり方を追求している。浜松市各自治会自主防災隊員の現場救護、トリアージ、搬送手段の啓蒙活動を訓練を通じて実践している。また、静岡県西部の磐田市、袋井市、御前崎市、浜松市天竜区の医療従事者・一般市民を対象として、医療救護所におけるトリアージおよびトリアージ以後の初療に関する訓練と技術の標準化を追求している。

#### 6. 救急医療体制のしくみの評価

病院前医療における救命リレーを適確に進めるために、浜松市における初期・二次・三次医療体制の見直し、浜松方式輪番制病院群の新しいあり方、県西部医療圏との連携の在り方、浜松医科大学救急部門の評価を行っている。救急隊員のメディカルコントロール、搬送症例の事後検証も行っている。

#### 7. 新臨床研修制度における研修医の評価と救急部スタッフに対する逆評価

新臨床研修制度における救急部ローテーション研修医について、救急医療研修の到達度評価、救急部スタッフによる研修医の評価とフィードバック、研修医による救急部スタッフの逆評価を行っている。救急医療の現場は教育的な環境であり、教員の教育技法を高める必要がある。分かりやすい指導、確実に技術を習得できる指導、タイミングを見て適切な形成的な評価ができることが必須である。診察、診断、治療の各プロセスにおいて教育効果を逃さない優れた指導医の養成プログラムを検討している。

#### 8. 低体温療法による心停止後症候群に対する心筋保護

低体温療法は心停止後症候群に対し、神経学的予後を改善する目的で広く行なわれている。この低体温療法には心筋保護作用があるのではないかと仮説を立て、現在ラット孤立心筋モデルにて検証を進めている。本年度は 1) 従来研究されていた 30～32℃という温度帯のみならず、34℃による低体温療法に心筋保護効果があること、2) 虚血中に低体温療法を導入するだけでなく、再灌流直後に低体温療法を施行開始しても心筋保護効果があること、の 2 点を明らかにした。今後は、この心筋保護効果の機序についても検討を進めていきたい。

#### 9. 平成 22 年度の社会貢献事業

1. 附属病院職員の診療力向上のために下記の講習会を指導した。
  - 1) 救急医療セミナー（講演）
    - (1) 第1回 青木 克憲 救急外来でのトラブル、院内職員約 40 名、臨床講義棟小講義室、2010 年 4 月 23 日
    - (2) 第2回 吉野 篤人 外傷初期診療 院内職員、約 20 名 浜松医大第一集会室 2010 年 5 月 21 日
    - (3) 第3回 望月 利昭 院内救急 院内職員、約 5 名 浜松医大第一集会室、2010 年 6 月 25 日
    - (4) 第4回 寺澤 秀一 内科救急のまとめ 医学科 6 年生・院内職員約 100 名、臨床講義棟小講義室、2010 年 7 月 16 日
    - (5) 第5回 青木 克憲 災害拠点病院って何？ 院内職員、約 20 名、浜松医大第一集会室、2010 年 9 月 3 日
    - (6) 第6回 望月 利昭 新しい心肺蘇生法ガイドライン 2010 院内職員、約 40 名、多目的ホール、2010 年 11 月 26 日
    - (7) 第7回 吉野 篤人 東日本大震災報告 院内職員、約 80 名、多目的ホール、2011 年 3 月 29 日
  - 2) 院内 BLS 講習会 院内職員に対して BLS の講義および実技指導
    - (1) 16 名、旧薬剤部 2010 年 6 月 21 日
    - (2) 28 名、旧薬剤部 2010 年 6 月 29 日
    - (3) 24 名 旧薬剤部 2010 年 7 月 26 日
    - (4) 24 名、旧薬剤部 2011 年 3 月 14 日
  - 3) 急変対応セミナー 病棟での急変時の対応について講義と実技
    - (1) 院内職員 10 名、看護部研修室、2010 年 6 月 24 日
  - 4) 救急スキルアップセミナー（実習）
    - (1) 第1回 BLS+AED のインストラクター技術の向上 院内職員 10 名、旧薬剤部、2010 年 6 月 29 日
    - (2) 第2回 ALS 技術の向上 院内職員 10 名、旧薬剤部、2010 年 7 月 20 日
    - (3) 第3回 JPTEC (Japan Prehospital Trauma and Care) 技術の向上、院内職員数名 旧薬剤部 2010 年 9 月 13 日
    - (4) 第4回 PALS(Pediatric Advanced Life Support) 技術の向上、旧薬剤部 2010 年 9 月 29 日
    - (5) 第5回 JATEC(Japan Advanced Trauma Evaluation and Care) 技術の向上、院内職員 8 名 旧薬剤部 12 月 16 日
  - 5) 薬剤部実習学生への心肺蘇生法指導 5 名、旧薬剤部 7 月 22 日
  - 6) 災害拠点病院（DMAT 対応）訓練
    - (1) 災害拠点病院として DMAT を受け入れる訓練、合わせて病院職員の災害医療訓練、病院医師、看護師、事務職員、研修医 100 名 多目的ホール 2010 年 9 月 1 日
  - 7) プライマリケア実践講座 臨床研修医を対象とした二次救命処置の講習、浜松医大臨床研修医 臨床小講義室 2010 年 11 月 13 日

- 8) 浜松医科大学医学部医学科、看護学科の医療救護訓練 2010年10月12日、医学科4年生のトリアージ訓練 2011年1月17日
- 9) その他
- (1) 第二内科講演会 災害時に一般医がしておくべきこと 第二内科医局員、約40名 内科合同医局 2010年6月9日
2. 医療施策の企画立案、地域の医療の向上、社会人生涯教育等の推進のための国や地方公共団体関係の委員会等への参画
- 1) 県西部地区MC推進者会議 委員(吉野 篤人) 救急隊員の活動に関するメディカルコントロールに関する諸問題についての検討 2010年4月15日、7月15日、11月18日
- 2) 県西部救急隊事後検証会 検証管理医師(吉野 篤人) 救急隊員の行った活動に対しての事後検証 2010年6月15日、8月17日、10月19日、2011年2月14日
- 3) 静岡県MC作業部会 静岡県全体の救急隊員に対するメディカルコントロールの実務担当、部会員(吉野 篤人) 2010年7月8日、9月2日、2011年1月9日、1月25日、2月22日
- 4) 浜松市医療救護対策委員会 浜松市における災害時の医療救護計画の立案、訓練の実施、会長(青木 克憲)、委員(吉野 篤人) 2010年6月2日、8月11日、11月28日
- 5) 厚生労働省、DMAT広域搬送訓練総括 9月1日に行われたDMATによる広域搬送訓練の反省会 2010年9月13日 東京千代田区：厚生労働省
- 6) 災害時院内対応等整備検討委員会 委員(吉野 篤人) 県内災害拠点病院の院内対応の整備についての検討 2010年10月26日、11月26日
- 7) 緊急被ばく医療ネットワーク調査検討会 委員(青木 克憲)、委員(吉野 篤人) 静岡県における緊急時の被ばく医療体制の検討、2011年2月9日、3月16日
- 8) その他
- (1) 委員(吉野 篤人) 集団救急事案の検討会 浜北区内で発生した高校生多数の熱中症事案の検討会 2010年10月29日 浜松市浜北消防署
3. 地域医師会等が主催する研究会での講師
- 1) 診療協議会 吉野 篤人 災害医療の標準化 60名 浜松医療センター 2010年5月27日
- 2) 浜松市医師会医療救護班班長への講義 吉野 篤人 浜松医師会医療救護班班長50名、浜松市医師会会館、2010年8月24日
- 3) 浜松市医療救護訓練の説明 青木 克憲 浜松医師会医療救護班班長50名、救護病院勤務医20名、浜松市医師会会館、2010年11月8日
- 4) 静岡県歯科医師会救急医療講習会 吉野 篤人 心肺蘇生法の講義と実習 歯科医師会員50名 静岡県歯科医師会 2010年10月7日
- 5) 労災保険指定医療機関医師へのICLS講習 二次救命処置の実技講習 吉野 篤人 (インストラクター) 静岡県西部地区医師 聖隷三方原病院 2010年10月24日



- 6) 磐田市災害医療訓練 災害時の外傷初期診療を学ぶ 青木 克憲, 吉野 篤人 (インストラクター)、医師、歯科医師、薬剤師、保健師 40 名 磐田市 i プラザ 2010 年 7 月 4 日
  - 7) 第 30 回浜松救急医学研究会 (事務局: 浜松医科大学救急医学)  
青木 克憲 (司会)、吉野 篤人 (運営)、局地災害シミュレーション 浜松市市内で列車事故が発生した場合のシミュレーション 約 100 名 浜松医療センター講堂 2010 年 6 月 30 日
  - 8) 小笠医師会救急実技研修会 望月 利昭 (インストラクター) 一次救命処置・心肺蘇生法、参加対象: 一般 (約 100 名) 小笠医師会館 2010 年 11 月 25 日
  - 9) 静岡県眼科医会 青木 克憲 (講師)、医療現場における救急蘇生法・災害時の応急救護法、浜松クラウンパレスホテル、2011 年 2 月 5 日
  - 10) 掛川小笠医師会 青木 克憲 (講師)、新しい日本版救急蘇生法ガイドライン 2010、掛川グランドホテル、2011 年 2 月 17 日
  - 11) 静岡県病院協会講演 青木 克憲 (講師)、基調講演「救急医療の諸問題」、グランシップ静岡、2011 年 2 月 27 日
4. 地域の病院や保健所等医療機関の関係者を対象にした研修会や講習会の実施
- 1) 新研修医対象 ICLS 講習会 吉野 篤人 (インストラクター) 名古屋大学附属病院新研修に対して二次救命処置の指導、名古屋大学附属病院新研修医 (医科、歯科) 約 30 名 名古屋大学附属病院 2010 年 4 月 18 日
  - 2) AHA-BLS 講習会 医療関係者に BLS を指導する
    - (1) 吉野 篤人 (コースディレクター) 医療関係者約 20 名 県西部浜松医療センター 2010 年 4 月 25 日
    - (2) 吉野 篤人 (コースディレクター) 約 20 名 浜松医療センター 2010 年 5 月 23 日
    - (3) 吉野 篤人 (コースディレクター) 約 24 名、磐田市立病院、2010 年 7 月 11 日
    - (4) 吉野 篤人 (コースディレクター) 約 24 名、掛川市立病院、2010 年 8 月 20 日
    - (5) 吉野 篤人 (インストラクター) 約 24 名、聖隷三方原病院、2010 年 10 月 31 日
    - (6) 吉野 篤人 (インストラクター) 24 名、成田記念病院、2010 年 11 月 23 日
    - (7) 吉野 篤人 (インストラクター) 18 名、浜松医療センター、2010 年 11 月 26 日
    - (8) 望月 利昭 (インストラクター) 浜松トレーニングサイト 浜松医科大学 2010 年 7 月 24 日
    - (9) 望月 利昭 (インストラクター) 浜松トレーニングサイト 浜松医科大学、2010 年 11 月 27 日
    - (10) 望月 利昭 (インストラクター) 浜松トレーニングサイト 浜松医科大学 2011 年 2 月 19 日
    - (11) 望月 利昭 (インストラクター) 浜松トレーニングサイト 市立島田市民病院 2011 年 1 月 23 日
  - 3) AHA-ACLS 講習会 AHA-BLS コース修了者を対象にした二次救命処置のコース
    - (1) 吉野 篤人 (インストラクター) 20 名、浜松医科大学、2010 年 7 月 24-25 日

- 望月 利昭（コースディレクター） 20名、浜松医科大学、2010年7月24-25日
- 4) AHA-ACLS-EP 講習会 AHA-ACLS コース修了者を対象にしたエキスパートコース
- (1) 吉野 篤人（インストラクター） 16名、日本 ACLS 協会横浜 TL、2010年4月29日
- (2) 吉野 篤人（インストラクター） 16名、日本 ACLS 協会大阪 TL、2010年5月30日
- (3) 吉野 篤人（インストラクター） 10名、浜松医科大学看護学科棟、2010年6月20日
- (4) 望月 利昭（インストラクター） 12名、日本 ACLS 協会東京 TL、2010年4月3日
- (5) 望月 利昭（インストラクター） 8名、浜松トレーニングサイト 浜松医科大学、  
2010年6月20日
- (6) 望月 利昭（インストラクター） 12名、金沢トレーニングサイト 石川県立中央病  
院、2011年3月5-6日
- 5) AHA-PALS 講習会 AHA の小児二次救命処置コース
- (1) 吉野 篤人（インストラクター） BLS 講習会受講済み 12名、聖隷三方原病院、1月29  
日-30日
- (2) 望月 利昭（インストラクター） 日本 ACLS 協会トレーニングセンター 東京トレ  
ニングラボ 2010年5月22日
- (3) 望月 利昭（インストラクター） 浜松トレーニングサイト 聖隷三方原病院 2010年  
9月25日
- 6) AHA HS-AED コース インストラクターコース
- (1) 望月 利昭、吉野 篤人（インストラクター） 浜松トレーニングサイト 市立島田市  
民病院、2011年1月22日
- 7) JATEC プロバイダーコース 外傷初期診療についての実習コース
- (1) 吉野 篤人（インストラクター） 外傷診療に当たる医師 32名、藤田保健衛生大学  
2010年6月26日～27日
- (2) 吉野 篤人（インストラクター） 受講生 32名、インストラクター 36名、山梨県立中  
央病院、2010年9月25日-26日
- 8) JATEC インストラクターコース JATEC コースを修了し、インストラクターを目指す講  
習会
- (1) 吉野 篤人（インストラクター） 20名、名古屋えきさい会病院、2010年9月10日
- (2) 吉野 篤人（インストラクター） 20名 JATEC インストラクター候補生、大阪、2010  
年11月12日
- (3) 吉野 篤人（インストラクター） 20名 JATEC インストラクター候補生、東京、2011  
年1月14日
- 9) ICLS コース（日本救急医学会認定）
- (1) 吉野 篤人（インストラクター） ICLS 指導者 WS、二次救命処置講習会のためのインス  
トラクター養成コース、ICLS コース指導者候補者、聖隷三方原病院、2010年11月3日
- 10) Difficult Airway Management セミナー（日本医学シミュレーション学会）
- 望月 利昭（インストラクター） 第33回 DAM 実践セミナー アスティとくしま徳島  
グランヴィリオホテル 2010年11月4日

- 11) 第7回御前崎 ICLS コース（心肺蘇生法講習会）望月 利昭（コースディレクター）  
医療従事者約 40 名、市立御前崎総合病院 平成 22 年 7 月 3 日
- 12) 災害関連
  - (1) 吉野 篤人（講師） 看護協会災害講習会 約 100 名 遠州総合病院講堂 2010 年 6 月 12 日
  - (2) 吉野 篤人（現場運営） 集団災害医学会セミナー（日本集団災害医学会公認）、災害医療に従事する者 150 名、浜松医科大学、2010 年 7 月 17 日～ 18 日
  - (3) 吉野 篤人（外傷初期診療ブース） 名古屋大学職員（医師、歯科医師、看護師）対象の災害医療訓練、約 60 名、名古屋大学附属病院、2010 年 9 月 27 日
  - (4) 吉野 篤人（講師） DMAT 技能維持研修会、DMAT 隊員への技能維持研修、150 名、モリコロパーク、2010 年 11 月 6 日
  - (5) 吉野 篤人（講師） 磐田市立病院の災害医療訓練、磐田市立病院職員、100 名、磐田市立病院、2010 年 10 月 20 日
  - (6) 吉野 篤人（インストラクター） DMAT 講習会、全国の災害拠点病院職員に対する DMAT 講習、全国の災害拠点病院職員で各県から推薦を受けたものを対象、東京・立川災害医療センター、2011 年 1 月 23 日
  - (7) 吉野 篤人（インストラクター） 静岡県災害医療従事者研修会、静岡県内の病院職員や行政職員に対する災害研修、静岡県内の病院、保健行政関係者約 120 名、静岡市もくせい会館、2011 年 2 月 2-4 日
  - (8) 吉野 篤人（講師） 湖西市消防署員、湖西市医師看護師市役所職員 約 100 名、湖西市ホール、2010 年 10 月 15 日
  - (9) 吉野 篤人（講師） 自動車教習所教官に対して応急手当に関する講義、自動車教習所教官 約 60 名、静岡市 2010 年 10 月 19 日、浜北警察署 2010 年 12 月 2 日
  - (10) 吉野 篤人（講師） 政令指定都市健康業務担当者への講演、災害医療の標準的手順について、全国政令指定都市保健行政担当者、浜松クラウンパレスホテル、2010 年 11 月 4 日
  - (11) 青木 克憲、吉野 篤人（インストラクター） 浜松市立看護専門学校、トリアージ訓練 平成 22 年 9 月 12 日
6. 一般市民を対象とする医療救護訓練 青木 克憲、吉野 篤人（インストラクター）
  - (1) 磐田市災害医療訓練 磐田市の医師会員、歯科医師、薬剤師、磐田市職員、一般市民 200 名、竜洋中学校、2010 年 9 月 12 日
  - (2) 磐周地区災害医療訓練 天竜地区、医師、看護師、市役所職員など約 100 名、二俣中学校、2010 年 10 月 2 日
  - (3) 浜松市医療救護訓練 医師、看護師、歯科医師、薬剤師、自主防災隊、一般市民、約 200 名、北小学校、2010 年 11 月 28 日
  - (4) 袋井市災害医療対策訓練 医師、看護師、歯科医師、薬剤師、地域住民、100 名、袋井市東小学校、2011 年 1 月 16 日

7. 中学生のための心肺蘇生法講座 中学生に対して心肺蘇生法を指導する、
- (1) 青木 克憲 (インストラクター) 鹿玉地区中学生：約 40 名、鹿玉中学校、2010 年 8 月 7 日
  - (2) 吉野 篤人 (インストラクター) 浜名地区中学生：約 40 名、浜名中学校、2010 年 5 月 8 日
  - (3) 吉野 篤人 (インストラクター) 三ヶ日地区中学生：約 40 名、三ヶ日学校、2010 年 8 月 28 日
  - (4) 望月 利昭 (インストラクター) 北浜地区中学生：約 40 名、北浜中学校、2010 年 11 月 27 日

## 15 新聞、雑誌等による報道

1. 2010 年 9 月 7 日静岡新聞 浜北西高、熱中症で 16 人搬送
2. 2011 年 3 月 24 日静岡新聞 浜松救急医学研究会に浜松市医療奨励賞を授与
3. 2011 年 3 月 30 日静岡新聞 東日本大震災の宮城で活動、吉野医師
4. 2011 年 2 月 28 日静岡新聞 「救急医療の維持」討論  
静岡で県病院学会受け入れ基準、明確に